

認知症作業療法 活動報告（概要）

群馬県作業療法士会では、「地域作業療法推進部 認知症支援推進グループ」として

- ◎県内認知症ケア資質向上のための研修事業
- ◎家族会支援にむけた連携強化、取り組み
- ◎認知症初期集中支援チームに資する人材育成事業の検討

などを行っている。

研修事業事業

群馬県からの依頼を受け、今年度も引き続き、認知症ケア資質向上のための研修事業を行った。群馬県地域医療介護総合確保基金事業補助金より助成を受け、県内の認知症ケアに関わる多職種を対象に、新オレンジプランに対応できる知識や技術の習得を目的とする。

2019年度は2回開催

- ①1月25日（土）：参加者62名
- ②2月15日（土）：参加者72名

2020年度は年2回の開催予定で、県内外のOTの支援の現状やOT以外の職種からの支援の視点を含むものにしていく。

家族会連携事業

認知症の人の家族を研修会の講師としてお招きし、講演をお聞きした。研修会実施について家族会会長から会員へ周知して頂いた。

今後の展開

- ・県内の認知症ケア資質向上のための研修事業継続
- ・県内OTの認知症対応能力向上（グッドプラクティスの集積および集積結果の周知）
- ・家族会との連携強化
- ・認知症ケアパスについての研究、啓蒙
- ・県内のOTの認知症支援活動の調査

一般社団法人群馬県作業療法士会主催研修会開催のご案内

認知症ケア資質向上のための研修

本研修は、認知症ケアに必要な知識や技術に関する研修を通し、地域における認知症高齢者の介護サービスの質を向上することを目的としています。

現在我が国では、超高齢社会をむかえ、施設や地域在宅生活の場で、介護予防の視点を持ち専門的見地から適切な認知症ケアを提供することが求められています。そこで、今回、認知症ケアに関わる人材の資質向上や、認知症予防・ケアに関する適応能力を向上することを目的として、介護福祉士、介護支援専門員、保健師、リハビリ職、社会福祉士、介護施設・事業所の管理者などを対象とした研修会を行うこととなりました。

今後、地域で生活する軽度認知症者が増加すると共に、認知症になっても在宅生活が継続できる様な支援が求められています。本研修を通じて、認知症に関する最新の知識や実践的な技術を一緒に学んでみませんか。

1月25日（土）

～認知症の最新の基礎知識を知ろう～ 会場：群馬県公社総合ビル

【受付】10:30～ 【開会】11:00～

【講義1】11:10～12:10 介護老人保健施設むろぎの園

作業療法士 石井利幸先生

「認知症作業療法におけるアセスメントとマネジメント」

～昼休み～

【講義2】13:00～13:30 医療法人大誠会内田病院 作業療法士

沼田市地域包括支援センター認知症地域推進員

川又夏帆先生

「世界および日本における認知症の課題」

【講義3】13:45～14:45 大井戸診療所 医師 大澤誠先生

「認知症の障害の本質と認知症原因疾患への理解」

【講義4】15:00～16:00 大井戸診療所 医師 大澤誠先生

「行動・心理症状の原因・背景および障害構造の理解」

先着200名様
参加費無料

2月15日（土）

～認知症の本人と家族の生活を支えるポイント～ 会場：高崎市総合福祉センター

【受付】10:30～ 【開会】11:00～

【講義1】11:10～12:10 医療法人中沢会上毛病院

精神保健福祉士 平方仁美先生

「認知症の人の地域支援の現状」

～昼休み～

【講義2】13:00～14:00 群馬医療福祉大学 リハビリテーション学部

作業療法士 山口智晴先生

「認知症の人の生活を支える工夫」

【講義3】14:15～15:15 認知症当事者を介護しているご家族の方

ランボウスト 山口智晴先生、平方仁美先生

「認知症の人の家族の体験談」

先着200名様
参加費無料

対象 群馬県内の認知症ケアに関わる職種 後援 群馬県

※当研修会は、令和元年度群馬県地域医療介護総合確保基金事業補助金の一部助成を受けて実施されています。

